

# 新・さぬき野

アイウエオ  
カキクケコ  
サシスセソ  
タチツテト  
ナニヌネノ  
ハヒフヘホ  
マミムメモ  
ヤユヨ

トモダチハ  
タスケアヘ

文部省

第一學年用  
導学小學校修身掛圖

巨匠木 惠介展

特集

香川と

映画

# 香川には ドラマがある

香川の  
美術館を訪ねて

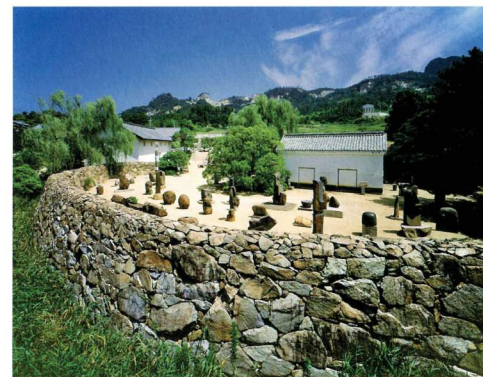


photo © Yukio Futagawa



## 偉大な彫刻家が夢見た地 イサム・ノグチ庭園美術館

今も昔も耳を澄ますと聞こえてくるのは石を打つ音。庵治石の産地、香川県の牟礼町を世界的彫刻家イサム・ノグチが初めて訪れたのは、1956年のこと。晩年は屋島を望む五剣山の麓にアトリエと住居を構え、以降20年余りは牟礼町と三浦ヨークを歩き来しながら制作に励んだという。

イサム・ノグチ庭園美術館は、この地が未来の芸術家や研究者、そして広く芸術愛好家のためのインスピレーションの源泉になることを強く望んでいたイサム・ノグチの遺志を実現したミュージアム。生きていた頃の雰囲気や住居イサム家、彫刻庭園と150点余りの彫刻が公開されている。

作品の多くは未完のため、まるで今までイサム・ノグチが制作していたのではと錯覚してしまうほど、当時の気配が色濃く残されている。

イサム・ノグチ庭園美術館  
高松市牟礼町牟礼3519 TEL087-870-1500 <http://www.isamunoguchi.or.jp>  
月・水・金・日曜休館(入館方法/予約制)

作家名:NOGUCHI Isamu 作品名: sculpture garden  
©2013 The Isamu Noguchi Foundation and Garden Museum/ARS,NewYork/JASPAR,Tokyo C0140

香川県情報誌

## 新・さぬき野 2013 冬 No.43

香川県に関する問い合わせ

香川県広聴広報課 〒760-8570 香川県高松市番町四丁目1-10 TEL087-832-3019  
<http://www.pref.kagawa.lg.jp/>  
 香川県のホームページ  
 新・さぬき野のページ <http://www.pref.kagawa.lg.jp/kocho/sanukino/>(電子ブック・スマートフォン版有り)  
 香川県東京事務所 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3都道府県会館9階 TEL03-5212-9100  
 香川県大阪事務所 〒542-0083 大阪市中央区東心斎橋1-18-24クロスシティ心斎橋4階 TEL06-6281-1661



かがやくけん、かがわけん。  
香川県

# 魔女のキキが 飛んだ空

記憶に残る映画やドラマ、話題のCMなど

数多くの作品の舞台やロケ地に選ばれた香川。

選ばれるには理由がある。

波穏やかな瀬戸内海、青い空と青い海に浮かぶ島々。

古き良き時代の記憶を残す町並み

そして歴史や伝統を伝える人たち。

多くの映像作家たちがこの地に触発され

優れた作品が描かれた。

それらを通して

香川の豊かな風土に触れた記憶は、

時代を超え、世代を超えて、

見る人の心に感動を呼び起こす。

香川と映画  
ドラマがある



『魔女の宅急便』2014年3月1日(土)全国ロードショー  
©2014「魔女の宅急便」フィルムパートナーズ

2013年の初夏、小豆島<sup>シロノシマ</sup>で映画『魔女の宅急便』のロケが行われた。アニメーション作品として有名だが、その原作は1985年、角野栄子さんにより誕生した児童書。魔女の血を引く13歳の少女・キキが魔女として生きることを決意し、コリコの町で「魔女の宅急便」を始めた。さまざまなお出来事を経験しながら一人前の魔女として成長していくストーリー。原作ではコリコの町は東洋であったことから実写版ではそれを映像化、新しい魅力が生みだされている。監督の清水崇さんは「小豆島の海と風から実写版の世界観ができた」と語ったという。撮影に使用したゲーチキパン店の施設は今後、小豆島の道の駅「小豆島オーリーブ公園」に常設される予定。小豆島の空を背景に飛ぶ、魔女のキキにスクリーンで会えるのは、2014年3月1日。

香川と映画  
ドラマがある

二十四の瞳映画村

日本中が愛した不朽の名作・映画「二十四の瞳」が田中裕子主演でリメイクされた際のロケ用オープンセットを改装した施設で、数々の名場面がここで撮影された。木造校舎や男先生の家など、懐かしさを感じながら名画の世界を楽しむことができる。施設内では、ハネルなどで監督の足跡をたどる「巨匠 木下恵介展」の開催やギャラリー「松竹座にて「二十四の瞳」が常時上映されている。また、1950年代日本映画の黄金期の名作の数々を映像と写真で紹介する「キネマの庵」、第35回日本アカデミー賞最優秀賞10冠受賞を記念した映画「八日目の蟬」小豆島展が通年で開催されており、作品DVDの販売も行っている。今も多くの映画ファンが訪れている。

■巨匠 木下恵介展



■映画「八日目の蟬」小豆島展



成島出監督、井上真央・永作博美出演、衝撃の人間ドラマを描いたヒューマンサスペンス。出生、愛憎、家族などの日常的な要素が、小豆島を舞台に独特の切り口で描かれている。

©2011映画「八日目の蟬」製作委員会

香川県小豆郡小豆島町田浦甲931番地  
TEL0879-82-2455  
入村時間9:00~17:00 年中無休  
http://24hitomi.or.jp/

ばれる。戦争と貧困の時代に翻弄されながらも、真剣に生きようとする大石先生と教え子たちを描いた物語には、ドラマチックな展開はない。彼女たちの日々の喜びや悲しみが淡々と、しかも丁寧に描かれている。見る人はそこに自分の姿を重ね合わせ、共感し涙する。

日本全国に小豆島ブームを巻き起こしたこの作品は、昨年の木下恵介監督生誕100周年を機に各地でリバイバル上映された。昭和29年当時、この作品を見た人たちはもちろん、若い世代の人たちにも新鮮な感動を与え、多くのファンや観光客がその余韻を求め小豆島を訪れている。



■二十四の瞳

木下恵介監督、高峰秀子主演。小豆島を舞台に、そこへ赴任した女性教師と12人の子どもの戦前から戦後にかけての温かい師弟愛を年記的に描いた作品。昨年の木下恵介監督生誕100周年を機に新しいパッケージに刷新。  
【<木下恵介生誕100年>二十四の瞳】  
DVD・ブルーレイ発売中  
DVD/¥2,800+税  
ブルーレイ/¥4,700+税  
発売・販売元:松竹

©1954-2012 松竹株式会社



木下恵介監督

日本映画史に輝く名作「二十四の瞳」をはじめ、ヴェネツィア国際映画祭正式出品の傑作「楡山節考(ならやまぶしこう)」、日本初のカラー映画「カルメン 故郷に帰る」、米アカデミー賞外国語作品賞ノミネート「永遠の人」など数々のヒットを生み、日本映画界の一時代を築いた映画監督。

# 大石先生と 12人の面影を求めて

木下恵介監督の代表作『二十四の瞳』。

モノクロのスクリーンに描かれているのは、時代という流れに、時に押しつぶされそうになりながらも、

寄り添い、励まし合いながら日々を懸命に生きる人々の姿。

そして、美しい瀬戸内海と小豆島の風景…。

公開以来、愛され語り続けられているこの映画に

なぜ私たちは、時代を超えて心をひかれるのか。

その答えを探してロケ地となった小豆島を訪ねた。

瀬戸内海に浮かぶ小豆島を舞台に女性教師と12人の子どもの交流をつづった映画『二十四の瞳』。公開されたのは昭和29年。当時、映画館では作品が2本立てで上映され、休日には全国各地の映画館が多くの観客でにぎわった。

そんな時代にあつてこの作品は同年「キネマ旬報ベスト・テン」第1位に選



映画「二十四の瞳」©1954松竹株式会社

地元のスタッフを作る  
ちさん

# 香川の地産映画が面白い

多くの映画人やドラマ制作者を魅了してきた香川で今、「地産映画」と呼ばれる映画づくりが始まっている。香川の魅力を一番知っているのは、地元に住む人たち。エキストラや食事、ロケ地の手配などのサポートはもちろん、今では脚本や監督など、実際に映画づくりに携わる人たち

も生まれている。単にロケ地を提供するだけではなく、地元で暮らす人たちが映画のプロと共に取り組むという新たな試み。映画完成後のプロモーションにも県民が協力するなど、香川発の映画づくりは全国的にも注目を集めている。

ここに住む人でなければ作れない映画が撮りたかったんです

そう語るのは、地元企業で働きながら、脚本・監督・製作をこなし、地産映画『猫と電車』を製作した香西志帆さん。「全国のご当地映画を見続けるうちに、ちよとした違和感を感じるようになりました。視点の違いだと思います。私が映画を作るなら、東京から見た地方ではなく、ここに暮らして感じる香川を描きたいと思いました」。彼女は現在、香川県さぬき市の景勝地「津田の松原」を舞台にしたご当地ラブコメディ「恋とオンチの方程式」(脚本・監督、来年2月の「さぬき映画祭2014」で公開予定)に取り組んでいる。この映画にはプロデューサーとして「踊る大捜査線」シリーズの監督などで知られる香川出身の本広克行さんが参加。プロと地元の映画製作者が協力して一つの映画を製作する。「今後も、型にはまらないご当地映画を作っていきたいと思います。それが、地元の人だけじゃなく、全国の人にも楽しんでもらえる映画になると思うから」。

映画づくりを陰で支えるフィルムコミッションやサポーター

香川フィルムコミッションが誘致に協力したテレビドラマ「フルハウスTAKE2」は、日中韓の共同製作という国際的な取り組み。さまざまな交渉や調整を経て完成した。高松琴平電気鉄道開通100周年を記念し、オール香川ロケで撮影された映画「百年の時計」では、エキストラの手配にとどまらず全国での上映活動など、県民によって結成されたサポーターたちが大いに活躍した。

日中韓共同製作ドラマ「フルハウスTAKE2」の制作発表会とロケ風景。



映画「猫と電車」は、2012年、高松琴平電気鉄道の開通100周年を記念して、オール香川ロケで製作された地産映画。監督・脚本・撮影・編集：香西志帆、出演：藤原ともえ。©「猫と電車」フィルムパートナーズ

## 映画づくりの担い手を、地元で育てる

今後、香川発の映画づくりがますます増えていくことが予想される中、将来の映像製作を支える人材の育成が始まっている。

演劇界の第二線で活躍されている平田オリザさんや本広克行さんが客員教授を務める四国学院大学の演劇コースだ。中四国初の同コースで学ぶ門田寛生さんは「ひとつの舞台を作り上げる楽しさと同時に、芝居を通してスタッフや観客、人との関わり方も学んでいます」と話す。中学・高校と演劇部に所属していた永山香月さんは「大学内の劇場で公演される演劇をもっと大勢の人に気軽に

それが私たちの実践の励みになります」。

脚本、演技、演出と総合的に演劇や映像製作を学ぶ彼らが、いつの日か地元映画の担い手として脚本・監督・俳優を担当し、さらには全国的な活動をする日も夢ではないかもしれない。



学生がプロの演出家と一緒に舞台作品を作り上げ、公演している。

特別企画  
香川と映画  
ドラマがある



本広監督の映画「サマータイムマシン・ブルース」でロケ地になった四国学院大学には、今も撮影に使われたセットの一部が残されている。

# guest 克本行広

## 映画監督

【プロフィール】  
1965年生まれ。香川県丸亀市出身。横浜放送映画専門学校(現・日本映画大学)卒業後、CM制作会社を経て、共同テレビジョンに入社。1992年、深夜テレビドラマ「悪いこと」で監督デビュー。以後、ドラマ「踊る大捜査線」など数々のテレビドラマの演出の仕事を手掛ける。「踊る大捜査線 THE MOVIE2」(2003年)では、日本映画(実写)興行収入記録を塗り替えた歴代1位の座を獲得。その後、「サマータイムマシン・ブルース」(2005年)、「UDON」(2006年)、「曲がれスプーン」(2009年)と地元・香川を舞台とした「さぬき三部作」を手掛けた。2011年、四国学院大学「身体表現と舞台芸術マネジメント・メジャー」(略称:演劇コース)客員教授に就任。来年2月開催の「さぬき映画祭2014」のディレクターも務める。

### 香川県知事 浜田恵造 対談

**知事** 「踊る大捜査線」シリーズなどの監督として知られる本広監督は、香川県丸亀市出身であり、「サマータイムマシン・ブルース」「UDON」、「曲がれスプーン」の「さぬき三部作」

の映画も製作されています。また、「さぬき映画祭2013」では、ディレクターに就任していただいて、大きな反響を呼びました。

**本広監督** 故郷の映画祭なので、や

るからには、私がつけている力を香川に全て投入しようと思いましたが、映画を見るだけではなく、解説も聞ける映画祭をやるとう。解説があると見方も変わります。自分の思い描い

た映画祭が実現できました。  
**知事** 映画祭がきっかけで香川に初めて来られた方も多かったと思いますが、ゲストからの反応はいかがでしたか。  
**本広監督** 監督さんや役者さんなど、映画祭に参加してほしい方に「私の故郷に来てください」「本場の讃岐うどんを食べに来ませんか」と連絡したところ、なんとお誘いした18人全員からOKの返事をいただきました。香川でアートや建築物をご紹介しますと皆さん感激して帰られました。香川に映画祭という新しい魅力ができたことで、来やすくなったのではと感じました。

## 映画、演劇で

## 「化学反応」を



とゲストで、開催規模を3倍に拡大し、3倍の動員を目指しています。

**知事** 期待しています。また監督は、撮影された「サマータイムマシン・ブルース」のロケ地である四国学院大学で、演劇コースの客員教授として教壇に立たれています。きっかけについてお聞かせください。

**本広監督** 「さぬき三部作」撮影の時にボランティアで手伝ってくれた高校生や大学生の多くは、中四国には演劇関係の学校がないので、卒業したら東京や大阪に出ようか、どうしようかと、将来を悩んでいました。ですので四国学院大学が演劇コースを設置すると聞いた時は、ぜひ協力したい

と思えました。あと数年すれば香川から役者や作家をはじめ、優れた人材が育つのではないでしょうか。演劇を学んでおくと企業に入っても高いコミュニケーション能力として生かせると思います。

**知事** 地方で優秀な人材が育つことはとてもありがたいことです。「さぬき映画祭」では映像塾も開催するなど、映画づくりの人材育成に力を入れています。シナリオや映像製作を学んだ映像塾の卒業生たちが集まって映画を作れば、さらに地元は盛り上がりそうです。

**本広監督** 映像塾の卒業生は約300人。その中には会社員をやりながら映画監督をしている女性も出

ています。今度、東京のプロのスタッフと彼女ら地元の人が一緒に映画を作り、来年の映画祭で発表するのですが、これもさぬき映画祭という発表する場があればこそです。「瀬戸内国際芸術祭」の「アート」と、「さぬき映画祭」の映画、それに「演劇」が加われば、香川で素晴らしいものができると思います。例えば、昼はアートを、夜は演劇を見られるという、ベネチアのような地方都市があってもいいと思います。

**知事** 香川では毎年「かがわ文化芸術祭」を開催するなど、県全体で演劇や音楽公演などに取り組んでいます。それを映画祭にもつなげて

いきたいです。  
**本広監督** 発表の場があれば、演劇でも映画でも、見る人も演じる人も成長できます。アート、映画、演劇に関わる人たちが交流し、良い循環ができればいいですね。

**知事** 香川で映像や映画文化がますます盛り上がり定着し、「アート県・香川」の強力なラインナップとして、映画や演劇が加わることを期待しています。これからも協力をお願いします。今日はありがとうございました。

### さぬき映画祭2014

開催期間:2014年2月14日(金)~23日(日)の10日間

香川県で、地元ゆかりの作品をはじめさまざまなジャンルの作品を上映するほか、ゲストを招いてのトークショーや交流会などを開催。今回は海外からもゲストが来県予定。多くの映画関係者が集まる映画祭として注目を集めている。



さぬき映画祭2014 検索

# 水は巡り、豊かな海へ

## 宝の海、 瀬戸内海の復権

ドイツの有名な地理学者で、

シルクロードの名付け親でもあるリヒトホーフェンは

1860年に瀬戸内海に立ち寄り

その美しさを旅行記にこう記したという。

「広い区域に互る優美な景色で、

これ以上のものは世界の何処にもないであろう。

将来この地方は、

世界で最も魅力のある場所の一つとして高い評判をかち得、

沢山の人々を引き寄せることであろう。《中略》

かくも長い間保たれて来たこの状態が

今後も長く続かん事を私は祈る。」

〔出典「支那旅行日記」上巻 慶応書房刊〕

波穏やかな海にたくさんの島が点在する「多島美」の景観を持つ瀬戸内海。その美しさに最初に気付いたのは、フェルディナンド・フォン・リヒトホーフェンら外国人の人々だった。その後、そんな外国人の文献から啓蒙を受けた香川県出身の小西和が、1911年に瀬戸内海を総合的に論じた「瀬戸内海論」を発刊。1934年、瀬戸内海が日本で最初の国立公園の一つとして指定された。

しかし、多くの人々にその美しさを賞賛された瀬戸内海も、高度経済成長期に環境破壊や水質汚濁が深刻化。1973年に「瀬戸内海環境保全臨時措置法」が制定され、一定の水質改善はみられたが、漁獲量の低下、藻場・干潟の減少、人と海との関わりが希薄になるなど、今まだ多くの課題を抱えている。

瀬戸内国際芸術祭の会場として世界からも、その景観の素晴らしさ、豊かさや美しさが注目されている今、目指すのは、人と自然が共生する

持続可能な豊かな海。豊かで多様な生態系や自然環境を守り、歴史や文化に彩られた瀬戸内海という大切な財産を未来の子どもたちにつないでいかなければならない。

もう一度、宝の海を。瀬戸内海の復権を目指す。

2014年

瀬戸内海国立公園指定

80周年記念行事を開催

「世界の宝石」とも称される瀬戸内海が国立公園に指定され、来年3月16日、80周年を迎える。それを記念して、春から秋にかけてさまざまな催しが予定されている。

### ●キックオフイベント

平成26年3月16日(日)

屋島・寒霞渓・鷺羽山をウォーキング

### ●瀬戸内海の風景・絵画コンクール

全国の小・中・高校生を対象に、瀬戸内海国立公園の優れた景観や風景を描いた作品を募集

応募期間は平成26年3月31日(月)まで

【お問い合わせ】

香川県みどり保全課 TEL087-832-3462



### ●香川の海・海辺の原風景の写真を募集

楽しかった海での思い出、心に残る風景など、とっておきの1枚をお送りください。詳細はホームページ「かがわの里海づくり」を検索。  
(写真左:海はたるが現れる浜辺は美しい海のバロメーター【提供/三豊市】)

# NEW YEAR UDON



# 年明けうどん



うどん県副知事 要潤

おせち料理は？  
うどん県副知事 要潤

年末といえば、年越しそば。では、年明けに食べるものといえば？多くの人が「おせち料理」と答えるけれど、うどん県・香川で年明けといえば、「年明けうどん」。



“紅い”あんもちをトッピング！  
「さぬきの年明けうどん」

香川のお雑煮といえば、白みそにあんもち。新たにうどん県の食文化を生かした赤いあんもちの入った「さぬきの年明けうどん」ができています。

ぜひ、2014年の年明けには、わが家ならではの「紅い」トッピングを添えて、めでたいオリジナルの年明けうどんをどうぞ。

「年明けうどん」は、純白のうどんを年の初め、元旦から1月15日までに食べることで、新しい年の到来を祝い、人々の幸せを願おうと始まった、うどん県の新習慣。その定義は、実に簡単。太くて長いことから、古来より長寿を祈る縁起物として食べられてきた白いうどんに、梅干し、エビ、ニンジン、かまぼこなど、新春を祝う「紅い」トッピングを添え、目にもめでたい紅白のうどんにすればできあがり。

今では香川だけではなく、めんたいこやイクラを添えるなど、他県でもこの地ならではの年明けうどんが生まれている。



「鮭節の親子うどん」  
(北海道)

ふわっとほのかに赤いさけ団子とイクラを添えて。さけ節とさけしょうゆを使用。



「明太うどん」  
(福岡県)

めんたいこを入れたちくわと、食紅を入れ紅白にした団子粉をしめ縄状にねじって。



「ひっぱりダコうどん」  
(大阪府)

たこの天ぷらを添えて。八本の足で末広がりでめでたく。



「穴子の豆乳紅白うどん」  
(東京都)

もみじおろしの赤と、豆乳とうどんの白で紅白を。新年を迎える希望と喜びをとろろ昆布で表現。



年明けうどんレシピコンテスト応募作品の中から、ご当地年明けうどんをご紹介します。

# 香川愛媛 せとうち旬彩館

KAGAWA EHIME  
SETOUCHI SHUN SAI KAN

東京・新橋アンテナショップ  
特産品、郷土料理、観光交流コーナーで  
香川の旬をぜひどうぞ。

今年の贈り物は、「香川の風」を届けてみませんか。香川の特産品がそろっています。



注目はこれ!

## 年越し準備は旬彩館で。 旬彩館年末フェア

(期間:12月23日～29日)

香川のお正月といえば、「あんもち雑煮」。旬彩館では、この時期、毎年好評の「あんもち」や「イリコ」、「白みそ」などが登場。赤が印象的な「金時にんじん」や、春を呼ぶ「菜花」も出そろい、色鮮やかで、華やかなお正月を彩ります。普段は見られない食材が登場するこの時期、お見逃しなく。



【あんもち雑煮】  
まろやかな「白みそ」に、甘い「あんもち」。この組み合わせが癖になる。

2階のかおりひめでも「しっぽううどん」、

「あんもち雑煮」、  
「年明けうどん」が  
味わえる。香川の  
料理で、心も体も  
ほっこりな冬を。



【しっぽううどん】

### 【交通のご案内】

- JR「新橋駅」銀座口から徒歩1分
- 東京メトロ銀座線「新橋駅」2番出口すぐ
- ゆりかもめ「都営浅草線「新橋駅」から徒歩3分
- 都営大江戸線「汐留駅」から徒歩5分

〒105-0004 東京都港区新橋2-19-10 新橋マンビル1,2階  
http://www.setouchi-shunsaikan.com  
観光交流コーナー TEL03-3574-2028

新・4姉妹 冬 No.43 平成25年12月1日発行  
企画・発行：香川県広報課  
編集・制作：西日本放送サービス(株) 編集長

## 〔東京で味わえる香川の恵み〕

香川の食材に東京で出合った。  
まずは東京で。次はぜひ本場、香川へ

とろけるプレミア感

### 「オリーブ牛の低温ロースト」

おいしくてヘルシー、金・銀ラベルの品質保証付きのプレミアム黒毛和牛「オリーブ牛」。数年前からコース料理のメインに取り入れているのはイタリア料理店「リストランテ ベニール ベニール」。「オリーブ牛を低温でじっくり時間をかけローストすることで、とても柔らかくうまみ成分が閉じこめられた一皿が完成します。小豆島のエキストラバージンオリーブオイルを最後にかけることで風味がさらに豊かに。赤ワインとの相性も最高です」と教えてくれたのは、加藤マネージャー。



今年、食の人気テレビ番組でこのメニューが大きく取り上げられたことで、「オリーブ牛」のヘルシーさとプレミア感を求めて来店する方が激増したとか。スタッフは香川県が開催する「オリーブ牛セミナー」にも参加していて「オリーブを飼料にしているため、オレイン酸効果でうまみ成分が多いこと、抗酸化成分向上でヘルシーなこと、ポリフェノール効果で後味も爽やかなこと、柔らかさの品質保証付き」など説明付きで提供してもらえるのもうれしいところ。でも「どんな説明よりも、やっぱり食べていただくのが一番。かまずに口の中ですりかかるとろける食感を楽しめます」と菊池シェフはほほえみます。

夜景のきれいなテラスや解放感のあるダイニングが人気でパーティーや披露宴に利用する方も多いお店。香川・瀬戸内を感じられるうたげを東京ですることができるのもうれしいですね。

### 【RISTORANTE VENIRE VENIRE】

東京都渋谷区神宮前4-31-10 YMスクウェア5,6階  
TEL03-5775-5333  
http://www.ginza-cruise.co.jp/venire/

## 瀬戸内国際芸術祭の今、 継続作品を楽しむ

11月に閉幕した「瀬戸内国際芸術祭2013」。国内外から100万人を超える多くの方にお越しいただき、ありがとうございました。

会期中に訪れることが出来なかった方に朗報です。一部の作品は継続展示しており、今でも鑑賞できます。継続作品の情報はホームページでご確認ください。

【お問い合わせ】瀬戸内国際芸術祭実行委員会事務局 TEL087-832-3123  
http://setouchi-artfest.jp/



大牟田  
Liminal Air -core-

## 新しい“瀬戸内”はじまります

静かな海、穏やかな気候、優しい人々。  
地中海をほうふつとさせる、日本の内海、瀬戸内海。  
瀬戸内を、日本でいちばんいいところへ。  
瀬戸内各県がひとつになって、動き始めます。



今年、瀬戸内海に面する香川、兵庫、岡山、広島、山口、徳島、愛媛の7県で構成される「瀬戸内ブランド推進連合」が発足。県境を越えて志をひとつにした画期的な取り組みが話題を呼んでいます。

多島美をはじめとした自然景観、変化に富んだ潮流や温暖な気候の恵みであるおいしい食べ物、人々の営みを感じさせる歴史・文化、風情ある町並み・情景など、個性的で多様な魅力がある世界に誇れる「瀬戸内」を多くの方に知っていただき、幾度となく訪れたい場所として選ばれることを目指します。

「瀬戸内ブランド」を確立するため、国内外へのプロモーション活動や瀬戸内の魅力を体感できる環境づくりに取り組みます。今秋は、「瀬戸内国際芸術祭2013」に合わせた「瀬戸内クルーズ」の実施や、「瀬戸内ブランドEXPO」と題して、メンバーの7県合同で瀬戸内を丸ごと体験できる食や物産のイベントを各県において開催。今後、食のブランド化、サイクリングルートづくりなど、ますますパワーアップしていく「瀬戸内」にご注目ください。

【お問い合わせ】香川県観光振興課 TEL087-832-3362

## LCC 成田⇄高松線1日2往復で運航スタート

片道  
¥4,590~

ローコストキャリア(LCC)のジェットスターによる成田・高松線が12月10日に運航開始します。片道最安運賃は「四国」にちな



ジェットスター(2013年12月10日開設)

んだ4,590円(別途手数料必要)。チケットはジェットスターのホームページや、ローソンの「Loppi」、コールセンターでも予約・購入できます。高松空港と坂出市や丸亀市などを結ぶリムジンバスの運行もスタートし、ますます便利に。



春秋航空日本(2014年5月開設予定)

さらに、来春にはLCCの春秋航空日本も成田・高松線を運航予定です。首都圏と香川県が、さらに身近になります。

【お問い合わせ】香川県交通政策課 TEL087-832-3131

高松空港 検索

## “香川にしかない”にほれこんで ここなら世界へも挑戦できる<香川に移住>



真剣なまごでキウイフルーツをチェックする深井さん

「1個1,000円でも売れる、「どこにも負けない香川のキウイフルーツ」に将来性を感じた」と目を輝かせるのは、4年前に香川に移住した深井稔さん。大阪で働いていた20代、友人と「将来は農業がしたい」と夢を語り合っていたそうです。

毎年就農フェアに通うも心を揺さぶられることなく半ば諦めかけていた29歳の時、今では「師匠」と慕う日本最大級のキウイフルーツ農家・島田さんと就農フェアで出会ったのです。「どこにも負けないキウイフルーツ」を作ることによって人生をかけた島田さんの姿に「はれてしまった」深井さん。「もちろん不安はありました。でも、実際にやってみないと本当のところは分からない」と覚悟を決め、友人と2人で移住。



香川県と香川大学が共同で開発した「さぬきキウイ」で世界へ挑戦

緑もゆかちもない香川で2人を持っていったのは「全面的なバックアップ体制」と振り返ります。市役所の「地域おこし協力隊」に任命され、3年間は給料をもらいながら農業経営やキウイフルーツ栽培の基本を学びました。今では、東京の大手デパートなどに深井さんの育てたキウイフルーツが並ぶほど。今後は「自分たちのような志を持った人が参入しやすい環境を整えていきたい。香川のキウイフルーツなら全国で、いや世界でも戦える」。その目は真剣です。

【お問い合わせ】  
移住について 香川県地域づくり推進室 TEL087-832-3125  
就農について 香川県農業経営課 TEL087-832-3406  
http://www.pref.kagawa.lg.jp/seisaku/eekagawa/

香川の元気な企業と出合うチャンス  
かがわ合同企業説明会in東京・大阪  
(東京会場)2月1日(土)パレスサイドビル(千代田区一ツ橋)  
(大阪会場)2月15日(土)豊洲国際センター(大阪市中央区豊洲)  
香川県労働政策課 TEL087-832-3368  
http://jobnavikagawa-plus.com/

四国に想いのある若者集まれ  
四国若者1000人会議  
学生・リーダーの講演や交流会など  
12月8日(日)渋谷ヒカリエホール  
同会議実行委員会 TEL03-6435-8245  
http://www.shikoku1000.jp

## あなたの力で 映画祭に 「さぬき映画祭2014」のサポーターを募集

多くのサポーターに支えられ、大成功に終えた昨年度の「さぬき映画祭2013」。今年度は、さらに作品数・観客数・ゲスト数いずれも3倍を目指すという大きな目標に向けて、スタッフ一同全力で取り組んでいるところです。(詳しくはP7-8)

もっと魅力的な、熱い映画祭を香川で実現させるため、あなたの力を貸してください。

サポーター募集  
1口15,000円。クーポンや公式パンフレット進呈などの特典もあります。  
応募方法はホームページをご覧ください。  
http://www.sanukieigaasai.com/festa2014.html

【お問い合わせ】香川県文化振興課 TEL087-832-3785